



# 支部だより

## — 行事予定 —

地方	支部名	日時	行事名	開催地	備考
北海道	北海道地方支部 (011) 211-7007	2008/2/上旬	第46回地区協議会事務担当者会議	札幌市	対象：区長都市事務担当者
		2008/2/14	第47回水道実務発表会	函館市	対象：支部全会員
中部	静岡県支部 (054) 354-2703	2008/1/16	防災担当者連絡会議	静岡市	対象：正会員、参加費無料
		2008/2/8	水道技術管理者研修会	浜松市	対象：正会員、参加費無料
	富山県支部 (076) 432-8740	2008/1/25	平成19年度第2回県内水道問題協議会（事務関係）	富山市	対象：正会員（富山県水道協会と共催）
		2008/2/中旬	県支部役員会	富山市	対象：役員（正会員及び賛助会員）
		2008/2/下旬	富山県水道事業研究発表会	富山市	対象：正会員（富山県水道協会と共催）
	新潟県支部 (025) 266-9311	2008/2/下旬	役員会	新潟市	対象：役員都市
		2008/2/下旬	水道災害対策会議	新潟市	対象：水道災害相互応援本部員都市
		2007/12～2008/2	ブロック別研修会		
関西	大阪府支部 (06) 6858-2911	2008/1/末	冬季研修会	未定	対象：正会員
		2008/2	第4回幹事会	未定	対象：幹事・監事
	京都府支部 (075) 955-9538	2007/12/中旬	平成19年度事務研修会	京都市	対象：府支部正会員
		2007/12/中旬	平成19年度第3回幹事会	京都市	対象：府支部役員
		2008/2/下旬	平成19年度水道技術管理者協議会	綾部市	対象：府支部正会員
	兵庫県 (079) 73-3690	2008/1/下旬	第128回水道協議会（技術関係）	赤穂市	対象：正会員技術系職員（43会員）
		2008/2/上旬	第59回水道技術管理者協議会	尼崎市	対象：正会員（水道技術管理者）
		2008/2/上旬	事務担当者連絡会	宝塚市	対象：幹事会構成者
2008/2/中旬		第203回幹事会	宝塚市	対象：幹事会構成者	
中国四国	岡山県支部 (086) 224-5411	2008/1/中旬	役員会	総社市	
		2008/1/中旬	県外視察会	鳥取市	
		2008/2/上旬	管理職研修会	岡山市	

## — 地域の話題 —

津市（中部地方支部）

三重県支部第13回水道事業担当者会議（津市：10月18日、19日）

本年度の水道事業担当者会議では、水道事業体職員の技術レベルの向上を目的に、津市水道局において「ポンプ設備の基礎技術講習会」を開催した。

この講習会では、名古屋市上下水道局職員研修所から協力を得て、県内の事業体から24名の職員が参加し、水道ポンプの分解組立作業を行い、その構造や維持管理について学んだ。参加者からは、「貴重な経験ができた」などの感想があり、職員の技術継承だけでなく事業体間の職員交流の機会ともなった。



## 大阪府支部（関西地方支部）

### 秋季研修会を大阪市・豊中市にて開催

大阪府支部では、毎年、近畿地区の先進的な水道事業体の取り組みを学ぶとともに、会員相互間の情報交換の機会を提供する「秋季研修会」を開催しています。本年は研修テーマを「浄水場における環境配慮」と設定し、10月19日に、正会員31名、会員52名の参加のもと大阪市と豊中市に赴きました。

当日は、午前には大阪市水道局柴島浄水場を訪問し、総合管理棟の概要とその建設にあたっての環境配慮についての説明を受けながら施設見学を行いました。当該施設は昨年度末に竣工されたものですが、設計段階において環境配慮を基本方針のひとつとして掲げられ取り組みを進められたもので、受講者一同、解説と視察を通じ、環境配慮のさまざまな手法を学びました。午後からは豊中市水道局を訪問し、民設民営方式による配水場における小水力発電事業についての説明を受けました。

府支部では、今後におきましても会員のニーズに沿った研修を行ってまいりますので、その折には積極的なご参加をお待ちいたしております。



### 兵庫県支部平成19年度全会員講習会（姫路市：11月2日）

兵庫県支部内の正会員・賛助会員・特別会員を対象とした事業として、姫路キャスパホールにおいて、全会員講習会が開催され、県内の正会員71名、賛助会員38名、特別会員2名、また今回は関西地方支部内の他府県支部より39名のご参加をいただき、合計150名の参加があった。「進化する耐震！～水道施設の耐震化の現状と将来展望～」をテーマに、第一部の基調講演では、神戸大学大学院工学研究科の高田至郎教授をお招きし、「水道と地震リスク」と題してご講演いただいた。第二部のパネルディスカッションでは、引き続き高田教授にコーディネーターをご担当いただき、パネリストには、日本ダクタイル鉄管協会より松本宏一郎氏、配水用ポリエチレンパイプシステム協会より片桐信氏、(社)全国上下水道コンサルタント協会より有馬彰宏氏、神戸市水道局より技術部配水課長の松下真氏をお招きし、専門的な立場から耐震化についての現状をそれぞれご報告をいただいたのち、耐震管路の採用条件やレベル設定等について意見を述べていただいた。今後どのように取り組むべきかを考えなければならない重要な事柄だけに、参加者は熱心に耳を傾けていた。